

ストーカー危険度チェック

(警視庁などが試行中のチェック項目の一部。それぞれに配点しており、その合計点数で危険度を①極めて危険②危険③危険度・高④危険度・低⑤危険度なしの4ランクに分ける)

加害者

- 過去に異性に暴力をふるったことがある
- 喜ばせようと思って言ったのに激怒されたことがある
- 暴力をふるった後は反省の態度を示すが、その後暴力を繰り返す
- 子供に体罰を加えたり、犬や猫をいじめたりする
- 極端に優しいときと極端に乱暴なときがある
- 相手が外出中、何度も電話をかけたたり、第三者を使ったりして行動を確かめようとする

被害者

- 相手の性格や言動に問題があるが、それを改善できるのは自分だけだと思う
- 相手が落ち込んでいると放っておけず、要望をすべて受け入れる
- 悲しみや怒りを感じても人前で表現するのは嫌だ
- 自分を犠牲にしても相手の世話を焼く

規制法の見直し必要

重大犯罪化防止 専門家と連携を

「解説」長崎ストーカー殺人事件を防げなかった最大の理由は、適切な対応を怠った警察の不振に原因を求めた。その反面、昨年1万4千件を超えたストーカー行為の中から重大犯罪を引き起こしそうな加害者を見極め、被害者や家族を守り抜くのは警察だけでは難しい。ストーカー規制法の見直しや専門家との連携が必要だ。▼1面参照

一方で規制法は、警告や禁止命令を経なくても逮捕可能としている。ただ、被害者の告訴が必要で、加害者の逆恨みを助長しかねない。

そのため、警察幹部は告訴要件を外し、警告などを省いて逮捕できる仕組みを提案する。重罰化も検討課題だ。いまの規制法の最高刑は懲役1年以下か100万円以下の罰金だ。警視庁や大阪府警など9警察本部は3月から危険度チェックを始めた。多くの事案の中から殺人などを起こすおそれのある加害者を早く見分ける狙いで、被害者から聞き取った加害者、

被害者双方の言動や性格の特徴を約70の項目と照合して危険度を4段階に分類、高いものは逮捕を急ぐ。項目づくりにかかわった国立精神・神経医療研究センターの福井裕輝医師(犯罪精神医学)は「危険度の高い加害者には発達障害傾向や自己愛が強いなどの場合が多い。医師や臨床心理士によるカウンセリングで行動の過激化を防げる」と話す。(編集委員・緒方健二)

被害受理先延ばし後旅行

長崎2女性殺害 習志野署員ら

長崎県西海市で昨年12月、ストーカー被害を千葉県警習志野署などに訴えていた女性の家族が刺殺された事件で、千葉県警が女性の被害届の受理を「1週間待つてほしい」と言った2日後に、担当者らが北海道旅行に行っていたことが県警への取材でわかった。

事件への対応について今月5日、千葉、長崎、三重の3県警が合同で検証結果を発表したが、旅行についての言及はなかった。

女性12月6日、事件後に殺人容疑などで逮捕された筒井郷太容疑者(27)から暴力被害を受けていたことを届け出ようと、父親と

ともに習志野署を訪れた。しかし、同署は受理を約1週間後に先延ばしした。検証結果で県警は、「他の変死事案の捜査などを優先したため」と説明していたが、女性が習志野署を訪問した2日後、同署では担当者らが2泊3日の北海道旅行に出かけていたという。

The Asahi Shimbun

東京スカイツリーの入場料金と入場券の種類

	入場料金(個人)	
	天望回廊まで	天望デッキ
大人(18歳以上)	3000円	2000円
高校生・中学生	2300円	1500円
小学生	1400円	900円
幼児(4~5歳)	900円	600円

日時指定の予約には500円加算

	入場券の種類と1日あたりの販売枚数	
	5月22日~7月10日(完全予約期間)	7月11日~(通常期)
インターネット予約	6千枚(抽選)	2千枚(先着順)
東武トラベル窓口	2千枚(抽選)	—
当日販売	—	1万枚
団体予約旅行商品など	6千枚	8千枚
計	1万4千枚	2万枚

スカイツリー 個人向け予約開始

東京スカイツリー(東京都墨田区、高さ634m)の開業まで2カ月となった22日、個人向け展望台入場券の予約受け付けが始まった。

方式で、受け付けはインターネットと東武トラベルの44支店のみ。北千住駅支店(同立足区)では、午前10時の営業開始前に約40人が並び、チケットを求める人が次々と窓口を訪れた。

は、開業から50日間は1日1万4千枚。このうち、団体や旅行商品を除いた個人向けは8千枚になる。団体向け展望台入場券は昨年11月から予約受け付けが始まっており、販売した9月21日入場分まではすでに完売。約54万人の予約が確定している。

混雑緩和のため、5月22日の開業から50日間は抽選

展望台入場券の販売数

(黒川和久)